

GS1ヘルスケアジャパン協議会オープンセミナー いよいよ現実味をおびてきた医療製品のトレーサビリティ ～GS1標準のバーコードを医療機関でどう使う～

現在、日本を含め世界各国で、GS1標準のバーコードの表示が進められています。バーコード表示は、医療機関内における医療製品の管理を行う上で欠かせない基盤となるものであり、医療機関でのトレーサビリティを行う環境が整いつつあります。GS1ジャパンヘルスケア協議会では、この状況を広く皆様にご理解いただくとともに、GS1標準のバーコードを利用している医療機関での活用事例をご紹介しますため、本オープンセミナーを企画いたしました。

ご興味ある方は是非ご参加ください。参加者募集は、（一財）流通システム開発センターHPで行います。

日時：2017年3月14日（火）13：30～17：00

場所：品川フロントビル（JR品川駅徒歩3分）

参加費：無料

定員：300名（定員になり次第締め切ります）

テ ー マ (仮)	講 師	時 間
開会挨拶	GS1ヘルスケアジャパン協議会 会長 落合慈之先生	13:30- 13:45
バーコード表示の現状と今後の取組について	厚生労働省医政局経済課 流通指導官 矢野健太郎様	13:45- 14:00
GS1ヘルスケアジャパン協議会活動報告 医療機器のバーコード表示に関する ガイドの作成など	GS1ヘルスケアジャパン協議会 部会主査 中田精三先生 他	14:00- 14:25
医療機関での利用例 医薬品のGS1データベースと合成シンボル	東京医科歯科大学医学部附属病院 薬剤部 高橋弘充先生	14:25- 14:50
休 憩		14:50- 15:00
医療機関での利用例 医療材料のGS1-128シンボル	東海大学医学部附属病院 麻酔科 澤田真如先生	15:00- 15:25
医療機関での利用例 医療機器等のGS1データマトリックス	新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 手術室 梅澤朋子先生	15:25- 15:50
医療機関での利用例 標準コードの利活用とその可能性	京都第二赤十字病院 消化器科・医療情報室 田中聖人先生	15:50- 16:15
パネルディスカッション GS1標準のバーコードを医療機関でどう使う ー医療従事者からの提言	GS1ヘルスケアジャパン協議会 会長 落合慈之先生（進行） 市立伊丹病院 中田精三先生 東京医科歯科大学医学部附属病院 高橋弘充先生 東海大学医学部附属病院 澤田真如先生 魚沼基幹病院 梅澤朋子先生 京都第二赤十字病院 田中聖人先生	16:15- 17:00
閉会		